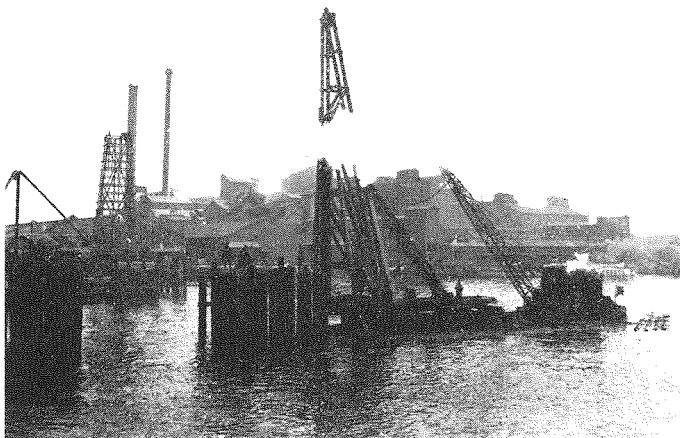


(1) 清洲橋 閉橋式 昭和三年三月十五日  
 位置 東京市日本橋區中洲町より深川區清住町に至る。  
 河川 隅田川  
 橋長 一八六、七米  
 有効橋幅二二米 (電車並車道一六、六米歩道兩側各二、七米宛)  
 有効面積四、一〇八平方米  
 構造 下部 橋臺及橋脚共 電撐空氣潛筒工法 による鐵筋混凝土

上部 鋼吊橋(鋼部重量四四五七噸)  
 桁下空間 五、六米以上(基準面は東京灣中等潮位)  
 橋面鋪裝 車道部木塊 歩道部布瀝青  
 工事着手 大正十四年三月  
 工事竣工 昭和三年三月  
 總工費 約二,九〇〇,〇〇〇圓  
 工事施行 復興局直營  
 桁製作請負者 株式會社 川崎造船所

(1) The bridge opening ceremony was held in large scale on March 15th, 1928.  
 River.....The Sumida.  
 Eff. width...22 meters.  
 Length.....186.7 meters.  
 Cost..... 2,900,000

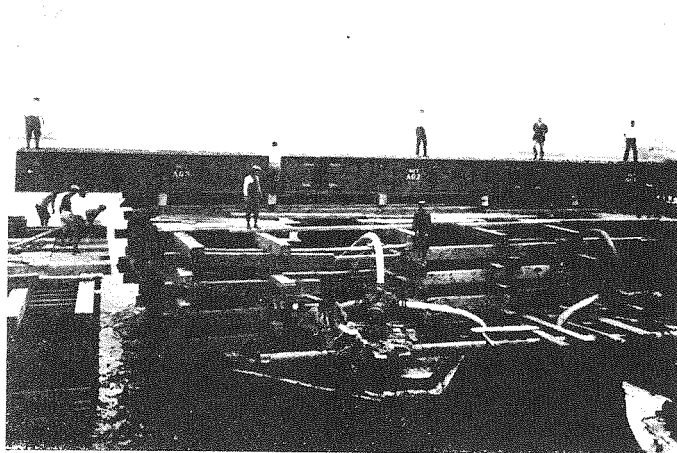


(2) Pillings for scaffold for the center span.

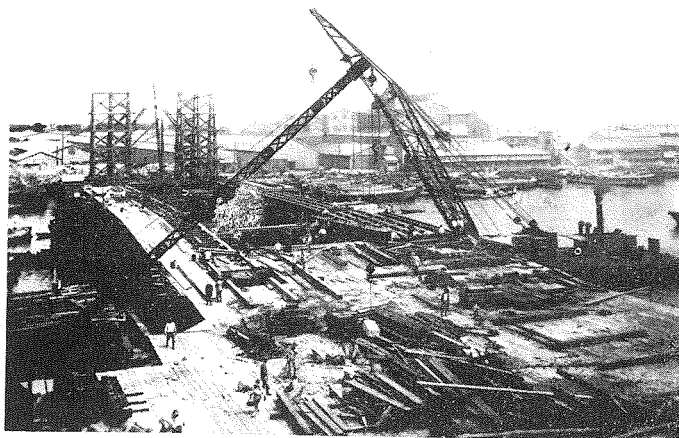
(2) 中央經間足場用杭打。  
蒸氣槌を用ひ長さ六十  
尺の米松丸太を打込み  
中である。

(2-2-14)

(5) 足場用ボックスガ  
ーの据付け。  
鐵船二隻を組合せたる  
臺船上にてボックスガ  
ーを組立て此の臺  
船を曳航して所定の經  
間に入れ臺船内に水を  
注入して吃水を下げガ  
ーを据付けるので  
ある。

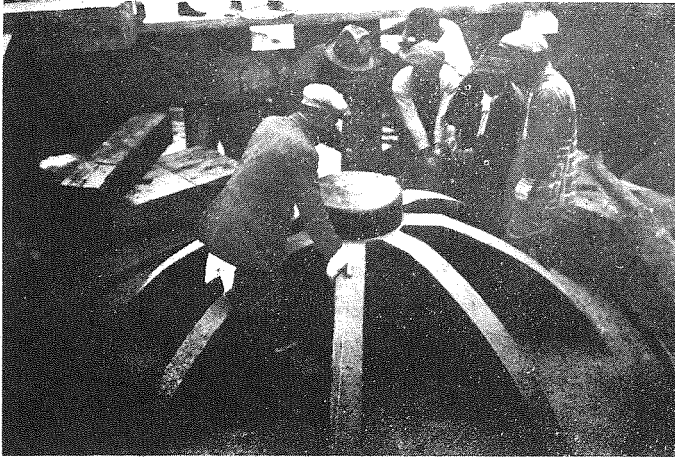


(3) Box-girder for scaffold.



(4) Temporary flooring for scaffold.

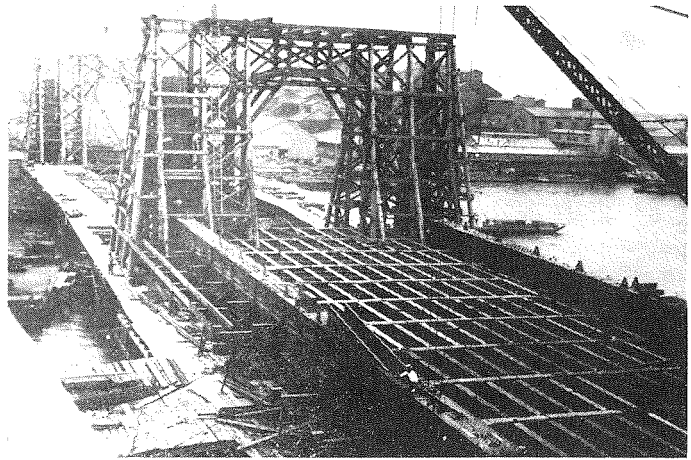
(4) 足場用棧臺の建設。  
起重機船で釣り上げて  
居るガーダーは足場用  
のボックスガーダーで  
ある。左側の方では此  
のガーダーの上に己に  
板敷を始めて居る。向  
ふの方では塔柱用の支  
柱檣の建設中である。  
其後方に白く石造の橋  
臺が見える。  
中洲側より見たるもの  
である。



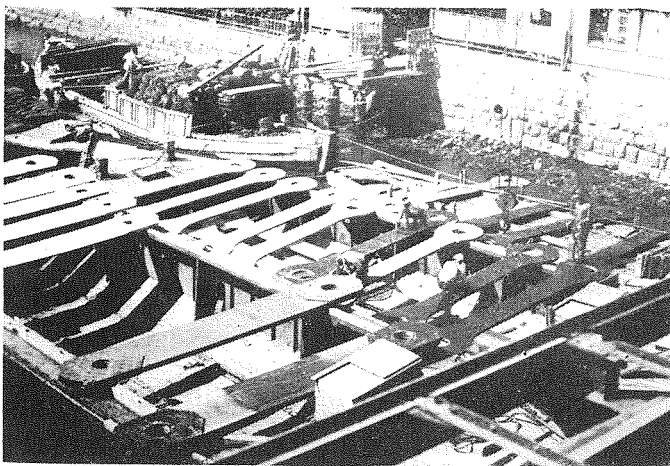
(5) Iron shoe.

(5) 鐵沓の裾付け。  
已設の混凝土橋脚上に  
塔柱の基底たる搖動鐵  
沓を裾付け中である。  
寫眞に見ゆるは此鐵沓  
の下半分で此の凸の上  
に上半分の鐵沓がうつ  
むきにかぶさつて以て  
搖動装置となるわけ  
である。

(6) 架設進行中の狀況。  
側經間では已に主桁、  
床桁、縦桁の大部分を  
終り塔柱の組立ても大  
分に進んで居る。  
中州側より見たる景で  
ある。



(6) A snap shot photographed during the time of construction.



(7) Painting upon chain plates.

(7) 繫鎖板のペンキ塗り。  
板のケレン落しをして  
下塗りを施して居る狀  
況である。